

令和5年6月19日

青森市政記者会 様

青森市教育委員会事務局
文化学習活動推進課長

令和5年度第1回あおもり文化とアート展の開催について（情報提供）

このことについて、別添資料のとおり情報提供します。なお、詳細については、一般財団法人青森市文化観光振興財団（電話 017-773-7304）にお問合せくださるようお願いいたします。

【担当】

青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課

主事 神、主幹 櫻庭

TEL : 017-718-1432 FAX : 017-718-1372

青文観(文)号外
令和5年6月19日

青森市政記者会 様

一般財団法人 青森市文化観光振興財団
理事長 能代谷 潤治
(公 印 省 略)

令和5年度 第1回あおもり文化とアート展
取材について(依頼)

向暑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当財団の文化振興事業につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当財団では、青森市の所蔵する美術作品を広く市民に鑑賞していただくため、「あおもり文化とアート展」を、今年度は全3回開催する予定となっております。この度、青森市教育委員会との共催で、第1回「祈りの祭り～心踊らすフォークロア～」と題した展覧会を開催いたします。今回は関野準一郎・佐藤米次郎・山口晴温の3人展とし、それぞれの作家の民俗的な題材を用いた作品を、市民の皆様にお楽しみいただけるよう、鋭意、準備を進めております。

つきましては、取材のご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。

記

- 1 依頼事業 別紙実施要領及び概要書のとおり
- 2 担当・連絡先 〒030-0812
青森市堤町一丁目4番1号 リンクステーションホール青森内
(一財)青森市文化観光振興財団
担当：船木
TEL：017(773)7304
FAX：017(776)2066

令和5年度 第1回
あおもり文化とアート展
実施要領

< 展 覧 会 >

- ◇開 催 趣 旨 青森市が所蔵する青森市出身芸術家作品を中心に、「あおもり」に係わる多様な作品の鑑賞機会を市民に提供する。
- ◇展 示 会 名 令和5年度 第1回 あおもり文化とアート展
「祈りの祭り～心踊らすフォークロア」
- ◇展 示 内 容 青森市の所蔵する関野準一郎・佐藤米次郎・山口晴温の美術作品
- ◇展 示 数 36点程度
- ◇開 催 日 時 令和5年6月28日（水）～7月2日（日）
10：00～20：00（最終入場時間19：30）
- ◇入 場 料 無 料
- ◇会 場 リンクモア平安閣市民ホール（青森市民ホール）
〒038-0012 青森市柳川1丁目2-14
TEL 017-722-3770 FAX 017-722-3771
- ◇主 催 一般財団法人青森市文化観光振興財団
- ◇共 催 青森市教育委員会
- ◇後 援 東奥日報社、毎日新聞青森支局、朝日新聞青森総局、読売新聞青森支局
陸奥新報社、デーリー東北新聞社、NHK青森放送局、青森放送、
青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、青森ケーブルテレビ
（申請中）

令和5年度 第1回あおもり文化とアート展 概要書

事業概要	事業名	第1回あおもり文化とアート展 「祈りの祭り～心踊らすフォークロア」
	事業内容	(一財)青森市文化観光振興財団では、市教育委員会と共催し、市民の皆様が気軽に市所蔵芸術作品や資料を鑑賞していただけるよう、年3回にわたり展覧会を開催いたします。この度は、青森市出身の版画家 関野準一郎・佐藤米次郎・山口晴温による“祭り”“信仰”をテーマとした作品を展示します。
	開催日時	〔日時〕令和5年6月28日(水)～7月2日(日) 〔場所〕リンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)1Fギャラリー 〔時間〕10:00～20:00(最終入場時間19:30)
	事業の特徴・セールスポイント	【主な展示作品および展示数】作品36点 ○関野準一郎1914-1988/展示数10点 「日本地獄風景 恐山」2枚組＝それぞれ赤と青を基調とした1m程度の作品。浮かび上がる人の頭(嬰兒にも見える)が青森の土着性を感じさせつつ、どこかスタイリッシュでもある点が斬新な印象を与える。技法はコラグラフ(版木に素材をコラージュして貼り付け刷る)。 ○佐藤米次郎1915-2001/展示数20点 「津軽の獅子舞」「津軽獅子舞」「弘前獅子舞」など獅子舞を木版画で刷った6作品群。青森に残るいくつかの獅子舞体系解説と共に、ユーモラスで親しみやすいモノクロの小作品を、比較することもできる。 ○山口晴温1915-2008/展示数6点 高橋竹山がモデルとなっているシリーズ。「北の響・板画撥」には今年、生誕120年を迎える棟方志功が登場。「北の響・地蔵撥」には、津軽の民間信仰“百万遍”(集落の高齢女性達が地蔵講の際に大きな数珠を皆で持ち回しながら念仏を唱える儀式)も彫り込まれている。
取材方法	集合時間	初日6月28日(水)10時～12時の間、会場にて担当 船木がお待ちしております。その他の時間帯は、担当者は文化会館の方におりますので、取材の際は事前に会場へのご訪問日時をご連絡ください。
	撮影場所	会場内であれば自由です。
	その他	鑑賞の支障が生じる場所での撮影およびフラッシュはご遠慮下さい。

一般財団法人青森市文化観光振興財団

文化・スポーツ普及振興チーム 担当：船木(柴田)

〒030-0812 青森市堤町1-4-1

TEL 017(773)7304 FAX 017(776)2066

●会期●

令和5年6月28日(水)～7月2日(日)
10:00～20:00 (最終入場19:30)

祈りの祭り
～心踊らすフオークローア～

関野 準一郎
佐藤 米次郎
山口 晴温

●会場●

リンクモア平安閣市民ホール
1階 展示ギャラリー

青森市柳川1丁目2-14

※お車でお越しの際は、地下駐車場または近隣の駐車場
(いずれも有料)をお使いください。

●主催●一般財団法人青森市文化観光振興財団・青森市教育委員会

●後援●東奥日報社・毎日新聞青森支局・朝日新聞青森総局・読売新聞青森支局・陸奥新報社・デーリー東北新聞社・NHK 青森放送局・青森放送・青森テレビ・青森朝日放送・エフエム青森・青森ケーブルテレビ

●お問い合わせ先●

一般財団法人青森市文化観光振興財団

TEL 017-773-7304

メール aobunspo-pro@actv.ne.jp



「室の八嶋 (達磨燃ゆ)」関野準一郎「木版」一九八一制作



「田植祭」佐藤米次郎「木版」



「津軽の奇習・火流し」山口晴温「木版」一九七二

祈りの祭り～心踊らすフォークロア～

●会期● 令和5年6月28日(水)～7月2日(日) 10:00～20:00 (最終入場19:30)

●会場● リンクモア平安閣市民ホール 1階 展示ギャラリー

「日本地獄風景 恐山」 関野準一郎 [コラグラフ] 1966 制作/連作



せきのの じゅんいち ろう
関野準一郎
一九一四(大正3)年、青森市に生まれる。青森中学卒業後、今純三から銅版画の技法を学ぶ。一九三九(昭和14)年には上京し版画家・恩地幸四郎に師事。スイス・ルガノ国際展はじめ数多く受賞。一九五八(昭和33)年にアメリカ・ロックフェラー財団より招聘されるなど海外でも活躍した。鮮やかな多色づかいや斬新な画面構成が特徴で、代表作に「東海道五十三次シリーズ」や「奥の細道シリーズ」などがある。

「津軽の獅子舞」 佐藤米次郎 [木版]



さとう よね じ ろう
佐藤米次郎
一九一五(大正4)年、青森市に生まれる。青森中学校時代に同級生の根市良三と柿崎卓治の3人で始めた創作版画誌『緑樹夢』の刊行を社会人となった後も継続し、中心的役割を担った。また、版画を用いた「蔵書票」の制作にも情熱を傾け、蔵書家として海外でも有名となった。米次郎は、県内の風景、伝統芸能や民間信仰などを、生き生きとした動きと表情で表現し、民俗資料としても貴重な作品を残した。

「北の響・板画撥」 山口晴温 [木版] 一九九八制作



やま ぐち せい おん
山口晴温
一九二六(大正15)年、青森市に生まれる。東奥日報社在職中より創作活動を続け、版画家・童画家として精力的に制作を続けた。一九四八(昭和23)年頃、児童誌『むつの子』の原稿書きや挿絵描きをするようになり、佐藤米次郎から直接、版画の手ほどきを受けた。また、県児童文学研究会の出版物をはじめ、多くの絵本、児童文学作品の表紙絵・挿絵を描き、青森県の児童文化の振興にも貢献した。

【今後の「あomor文化とアート展」スケジュール】

- 第2回「かわいい×かわいい」棟方末華・山内ゆり子・濱田英一：令和5年11月22日(水)～26日(日)
- 第3回「東海道五十三次」関野準一郎：令和6年3月6日(水)～10日(日)